

平成30年度 東北大学大学院歯学研究科 がん口腔ケア特別研修コース 受講生募集

口は、食べる・呼吸するといった生命に必須の機能を持つと共に、人とコミュニケーションをとり、自分を表現するといった人間生活に必須の役割を担う。この口腔機能を出来るだけ高く維持することは、周術期や入院加療中、さらには緩和ケアを受けている患者さんの生活の質の維持に直結し、人としての尊厳を保つために極めて重要である。頭頸部領域や上部消化管・呼吸器の外科処置時に口腔ケアを実施すると、入院時間の短縮や術後の発熱等の合併症が少ないことが報告され、さらに、放射線治療時や薬物療法を実施した際の口腔乾燥症への対応も、闘病生活を支える上でも極めて重要である。これらの処置は、一般的には口腔ケアと総称されているが、がん治療中に実施する周術期口腔ケアは、日常的に実施が必要であるものの専門的な知識と技能が要求される。東北大学大学院歯学研究科では、口腔の構造と機能、がんによる口腔の変化とその対応の実際について、大学院の専門的な講義と実習を開放講座として提供し、各病院施設等でがん患者の口腔ケアを実践し、周術期口腔ケアの指導的役割を担う人材を養成する。

受講対象者：歯科衛生士、看護師など、口腔ケアを実施できる資格を有する者

受入人数：50名まで

研修場所：東北大学大学院歯学研究科C1セミナー室（2月27日のみC3セミナー室）

期 間：平成31年2月から3月までの期間、指定日の17:30～18:30に7回の講義、

代表教員：小関 健由（予防歯科学分野・教授）

内 容：

第1回 2月6日（水） 整形外科手術について 吉田 新一郎 先生（整形外科）

第2回 2月15日（金） 心臓・血管の手術について 秋山 正年 先生（心臓血管外科）

第3回 2月20日（水） 抗がん薬の基礎知識 高橋 昌宏 先生（腫瘍内科）

第4回 2月27日（水） がんの基礎知識・口腔粘膜炎について 岩永 賢二郎 先生（予防歯科）

第5回 3月8日（金） 全身の基礎疾患/背景を有する患者の周術期全身管理 下田 元 先生（歯科顎口腔外科）

第6回 3月13日（水） 頭頸部癌の治療について 大越 明 先生（耳鼻咽喉・頭頸部外科）

第7回 3月20日（水） 周術期患者の義歯治療、口腔管理について 石河 理紗 先生（予防歯科）

費 用：無料（別途、教材費がかかる場合があります）

* 本研修は、歯学研究科大学院修士過程のカリキュラムを一般開放して開講しています。

<お問い合わせ先・申し込み>

* 身分証明のため、会員番号とお名前をお知らせください

東北大学病院 歯科衛生室 渡部

TEL： 022-717-8414（歯科衛生士長室 直通）

E-mail: chiyo.watanabe.c4@tohoku.ac.jp